

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	1/32
日時	平成 21 年 10 月 14 日(水)	場所	東地区文化センター

1. 開会【企画財政部長による開会】

定刻になりましたので、ただいまより平成 23 年度からの次期総合計画に関わります地域別懇談会を開催させていただきます。座間市において現在、第三次総合計画の計画期間内であり第三次の総合計画につきましては平成 3 年に策定されまして、平成 22 年度をもちまして期間が終了と、こういう状況でございます。従いまして、平成 23 年度からの次期総合計画について皆様方からご意見頂戴し、いわゆる今後の座間市のあるべき姿というものにつきまして忌憚ないご意見をいただきたいとこのように思います。また本日はあわせまして次期総合計画に密接に関連します都市マスタープランというものがございます。これについてもご意見等をいただきたいと考えております。意見交換の後、座間市長より総括的なまとめをさせていただきたいと思っております。また、本日いただきましたご意見につきましては、十分に精査・検討させていただき、計画に反映させ計画案がまとまり次第、第 2 回地域別懇談会を開催させていただく予定です。その中で具体的な内容につきましてご報告もうしあげ再度ご意見等をいただく予定です。よろしく願いいたします。それでは座間市長であります遠藤市長からご挨拶申し上げます。

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

皆さんこんばんは。本当にこのお忙しい時間、夕食の時間帯にもかかわらず大勢の皆さんにご参加いただきましてまずもって深く御礼を申し上げたいと存じます。ただいま開会のご挨拶のなかでもご紹介ありましたが、わたしも座間市においては現在、第三次総合計画の計画期間内であるわけでございますが、平成 23 年の 4 月から次期の総合計画、これを策定したうえでその計画にしたがって今後市政について計画的な推進をしていく、こういう時期にきております。第三次の計画については、平成の 3 年にスタートして前期 10 年・後期 10 年全体で 20 年の計画となっておったわけですが、今回の時期総合計画につきましては計画期間をむこう 10 年と期間を区切って計画策定させていただきたいと存じております。それは、私が申すまでもなく本当に変化の激しい時代になっておる、そうした世相になっておるわけでございます。とりわけ私ども日本では少子高齢化社会、この高齢化の進行も急ピッチで進んでおるわけでございます。この人口減少については、人的要因を除き歴史上かつて経験したことのない事態、そうした課題を国全体で抱えていくなかで、私ども基礎自治体、市町村、市民生活に密着した立場でどのような施策をとっていくべきなのか、また安心安全そして末永くここで本当に暮らしてよかったと思えるまちにするために何が必要なのかということについて、どんどんこれはやはり考えをめぐらせてこの計画を策定していかなければならない、このように思うわけでございます。今後の社会情勢について正直予測が出来る人はいないというふうに思います。現在取り組んでいる私ども座間市の第三次総合計画、これについては平成 3 年からということで歩んでおるわけでございますけれども、平成 3 年という頃をぜひ皆さんにも思い出していただきたいと思うわけでございますけれども、ちょうどバブル経済が終焉を迎えて、坂道をごろっと下り始めた頃だったというふうに私は記憶しております。それから以後失われた 10 年と言われた日本経済のバブルの低迷期、これが私ども座間市にとっては第三次総合計画の前期計

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	2/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

画にあたる期間であったわけでございますし、その後の2001年から以降これが後期計画の該当期間であったわけでございます。日本経済がちょうどその谷間に向かうそうした時期にその前のバブルのそれこそピークからちょうど盛りの頃にあまれた計画が第三次総合計画、それに従って私ども座間市の都市基盤整備というのが特に前半の10年間で進められ、この間のやはり経済危機こうしたものを踏まえた中で、後半の10年間というのがその前半期に進めさせていただいたハードウェアの整備、都市基盤整備の部分でできた市債、これを丹念に償還をしながら市民の生活を守る、こうしたこれまでの取り組みであったのではないかとというふうに私自身は次期総合計画の策定にあたって総括をさせていただいております。その20年前に誰が今日のこの事態を想像したでしょうか。また、前期が終了し後期の10年間を考えると、こうした状態になることを誰が想像したでしょうか。この間にそれこそ携帯電話の普及があり、私ども子供の頃、まさかこんな時代がくるとは思ってもいなかったような状況になり、エネルギー危機というものが目前に迫る中、温暖化とういものがあり、どうも電気自動車というものも今後10年のスパンで考えますとおそらく10年後には相当普及しているんじゃないかといったような社会、そしてシステムの変化があらうかと思えます。こうした状況というものをやはりしっかり踏まえながら、今回の次期総合計画については、それらに対して柔軟に対応出来るようにということで、計画全体を5年間で見直しをし、事業計画については2年にいっぺん見直しをしていく、その時代にきちんとマッチしたかたちでこれを考えていく。見直しをするということを私は盛り込ませていただいております。ましてこの厳しい経済情勢、地方公共団体の財政状況というものもご存知のとおり本当に厳しい状況になっております。その厳しい財政の中で必要なものについて有効に活用して、本当に市民のためになるような行政のあり方、そのためにはやはり市民皆さんのお声、そして何が必要なかということについての率直なお考えというものを、やはり常に耳をすませて、傾けてお伺いしていかなければいけない、このように思うわけでございます。これまでこの計画についての策定取り組みの中で、先月からでございますけれども、まず各種団体別の懇談会という、地域で活動されております団体の代表者様と分野別に3日間行なわせていただきました。そしてまちづくりフォーラムということで先般サニープレイス座間の多目的室にて、やはり同じような意見集約の場をもたせていただいたわけでございますけれども、色んな角度から色んなお立場から示唆に富んだご意見を沢山頂戴しております。まずは私ども行政の立場で考えておるんでございますけれども、実際にその行政のサービスを受けられている皆さんにとって、そしてこれから座間を共に作っていただくという皆さんにとって今後こうあるべきだということについて、率直な意見をまず伺っておきたい。そのために今回市内6地区に分けて懇談会を開催させていただき、色々な多様なご意見また地域ごとに違ったお考えもあるかと思えます。そうしたものを集約をさせていただいて、それをまた咀嚼をさせていただき、計画の中にテーマの中に盛り込んでいく。さらにそれをまたご提示してご意見を伺っていく、こうしたプロセスを重ねていく中で、計画を形成していきたいというふうに思っておるわけでございます。そうしたことから今日これからまず私どものほうで今取り組んでいることについての概要の説明をさせていただき、その後はどうか皆さんのほうから忌憚のないご意見をここで出していただいて、それを受け止めさせていただ

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	3/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

く、それを今後に向けての取り組みの私どもの糧にさせていただき、そうした場に今日はさせていただきたいというふうに思うわけでございます。これから先やはり、地域の中で希薄化したといわれるコミュニティこれについてもやはりきちんと見直しをしながら、ともに手を携えて助け合いながら、そして信頼しあいながら生きていくそしてこのまちに住み続けていく、こうしたやはり基本的な原点にかえった取り組みというのがまさしく必要になろうかと思えます。そうしてはじめて今回の総合計画策定についての取り組みというのも、まさに市民協働という言葉、私は難しい言葉あまり使いたくないんですけども、やはりともに考えともに歩んでいただくということのひとつとしてぜひ受け止めていただき、今日のこの会合お願いしたいと思います。時間の関係もでございますのであまり長いこともいけないと思いますので、このあたりで失礼いたしますけれどもどうか忌憚のないご意見よろしくお願いいたしたいと思えます。

3. 趣旨説明

(1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

総合計画の位置づけ、第三次次総合計画と（仮称）第四次総合計画との違いなど、政策課長が説明。

ありがとうございました。それではさっそくですけども次の議題のほうに入ってまいりたいと思います。まずこれから皆さんのほうに今回の総合計画の関係につきまして、趣旨説明をまずご理解をしていただいて、その後忌憚のないご意見をいただきたいということで私共事務局のほうから趣旨説明につきましてご説明申し上げたいと思えますのでしばらく拝聴いただきたいと思えます。よろしくお願いたします。

政策課長の山本と申します。よろしくお願いたします。本日も忙しい中お越しいただきましてあらためてお礼申し上げます。私のほうから趣旨説明それから今までの取り組み経緯についてご説明させていただきますが、それに先立ちまして資料の確認をさせていただきますと思えます。まず総合計画の策定の趣旨と枠組みという資料でございます。それから画面を印刷したものの、「都市マスタープラン」とはという1枚の資料、それからニュースレター1号から2号3号と、全部で3部でございます。過不足ございませんでしょうか。なければ趣旨説明を始めさせていただきますと思えます。総合計画でございますが、地方自治法という法律で策定することが義務付けられているところでございます。本市では昭和47年に座間市総合計画を策定しており、2番目の総合計画としまして55年から平成2年までの間、座間市新総合計画を作成しております、そして今現在計画期間中でありまして第三次総合計画を平成3年に定めまして、22年までの計画となっております。その第三次総合計画も残すところあと1年半というなかで新しい総合計画を策定していくということでございます。新しい総合計画策定にあたりましては市民の皆様方からご意見等を十分にお伺いしたなかでそれらを計画に反映することで総合計画が市民の皆さんと共有する目的として定め、1人でも多くの市民の方々がこの座間に住んでよかつたと思えるような計画にしたいという考えであります。今までの取り組みについて簡単にご説明させていただきますと思えます。本年3月には小学生児童を対象に私の座間というテー

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	4/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

マで絵画コンクールを実施させていただきました。500を超える応募がありましてそれぞれふるさと座間を想う気持ちに溢れる作品ばかりでございました。また同月には次期総合計画をどのような方針のもとに作成するのかを明らかにする策定方針を策定させていただきました。4月18日には次期総合計画策定のキックオフとして、まちづくりシンポジウムを開催させていただきました。125名の市民の皆さんの参加をいただいております。それから8月20日には座間こども議会を開催させていただきました。座間の未来に向けたまちづくりについて子どもの視点から提言や質問をいただきまして、児童生徒が今後の目標として座間こども議会宣言というものを採択し、発表を行いました。また8月から9月につきましては皆様のお手元にも届いているかと思ひます、葉書のようなかたちで、あなたが思い描く12年後の座間というようなテーマで皆様から一言メッセージを募集いたしております。現在のところおよそ2000件のご意見等をいただいている状況でございます。そして9月の28、29、30日の間、各種団体懇談会を開催させていただきました。健康福祉、生活環境、産業労働、それから教育文化というような分野別に、開催させていただいております。それから10月4日には、まちづくりフォーラムをサニープレイスの方で開催させていただいております。これにつきましては、65名の市民の方に、ご参加いただきました。それから本日も含めまして14日から22日までの間、6箇所の会場に分けて地域別懇談会を開催させていただいております。これにつきましては、冒頭お話ありましたように、第1回目として開催させていただくもので、2回目としましては、来年、案がまとまったような段階で、また皆様方からご意見等を頂きたい、そのように考えております。また、10月30日から11月12日にかけては市民まちづくり討議会というものを開催予定でございます。これはなかなかご発言機会がない方や市政に関わりがない方々の意見をいただきたいということでございまして、2000人の方に無作為でご案内をさしあげて、参加いただける方にご意見を頂戴しようとする新しい試みでございます。市民の方々に関係することについては以上でございますが、いずれも市のホームページ等で詳細を掲載しておりますのでご覧になっていただければと思います。また本日お配りした次期総合計画のニュースレターにつきましても、これもホームページ等で紹介さしあげております。また自治会からも回覧をさせていただいておりますのでご覧になっていらっしゃる方もいらっしゃるかと思います。今後も広報座間やニュースレターなどで総合計画策定にあたっての進捗についてその都度お知らせしていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。それでは本日配布さしあげました資料についてのご説明に移らせていただきたいと思ひます。まず1ページ目の策定の趣旨でございます。これにつきましては、総合計画の定義と経済環境など市を取り巻く環境の変化などに対応する計画をしなければならない、それには何が重要かというようなことを記載しています。平成4年にはバブル経済の終焉を迎えた、その後10年については失われた10年と言われているということでございます。平成12年には地方分権一括法というようなことで分権の礎となる法律が制定されております。それから平成17年には日本の総人口の減少が、少子高齢化社会の到来、三位一体の改革による財政の硬直化、これは直接座間市には関係ございませんが平成の大合併ということで平成11年3月現在では3232自治体が、来年3月には1753自治体になろうかというような変化がございます。資料には記載してございませんがその他にも

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	5/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

平成12年には介護保険法、平成20年には後期高齢者医療制度が導入されました。本市の特徴・特別なものとして平成7年には自動車関係企業の閉鎖：生産レーンの閉鎖というような大きな出来事がありました。そう状況にも適確に対応した即応性の高い計画を策定しなければならないということを記載しております。次に計画構成期間でございますけれども、このような策定趣旨を踏まえて、次期総合計画の計画構成期間などを記載してございます。現在の第三次総合計画は20年間でしたが、次期計画ではこれを10年間とする、これは先ほどの時代の変化を踏まえるための変更でございます。また現在の第三次総合計画では基本構想と基本計画、実施計画という三層の計画でございました。次期総合計画ではわかりやすくするために基本構想と実施計画という2層にいたします。なお、実施計画は4年間で2年ごとに見直していくというような考えでおります。また新しい取り組みとして、より具体的に重点的に取り組む計画としまして戦略プロジェクトを策定し、より目的や成果を明確にして検証できるような戦略プロジェクトを導入しようと考えております。次に2ページでございますが、座間市の人口、現在までの推移を示してございますが、市内人口につきましては、平成47年までの推計人口を記載してございます。現在微増を続けている状況でございますけれどもまもなくそれも終焉し、人口が減少していきたくらうと世帯数については横ばいですが、年齢別の将来推移でございますが、座間市において平成18年には老年人口と年少人口の逆転現象が起っております。高齢化率が人口の21%を超えると超高齢化社会と言われております、座間は25年にはその超高齢化社会に入っていく、そういう推計をさせていただいております。こう見ますと高齢化が進んでいくということは明白であろうかと思っておりますが、ここでちょっと座間市の特色といたしましてお話させていただくと国勢調査ベースで、783都市中、生産年齢人口というのが、27番目ということで全国でみれば多い状態にあります。老年人口についても下から数えて45番目、若い都市という特性をもっているということになります。3ページ目の土地利用につきましては、地域の17.58㎢のうち市街化区域が71.3%を占め、県央地域では大和市に次いで2番目に市街化区域率が高い。そして住宅・商業・業務用用地が増加しており、工業・農業用地が減少しているとそういった現況を記載してございます。次の4ページから5ページにつきましては、分野別の特性と課題を記載してございます。①としまして健康・福祉分野、②としまして市民参画・コミュニティ、③としまして教育・生涯学習・スポーツ、④としまして都市基盤整備、⑤としまして環境・廃棄物、⑥としまして産業、⑦としまして行政経営、以上の分野の特性と課題を記載してございます。内容につきましては記載の通りですので省略させていただきます。次の6ページ目でございますが、ここでは社会潮流を記載してございます。これにつきましては人口減少社会、高齢化社会の進展、地方分権から地域主権社会へ、ソーシャルマネジメントの時代へ、低炭素社会の具体化、情報化の進展、社会と経済・雇用構造の変化、グローバル化とフラット化の進展、安心・安全の確保、教育環境の変化と教育改革、そのような社会潮流をまとめてございます。最後に7ページでございますけれども、実効性のある計画に向けてとして3段目に記載してございますけれども、市民の皆様が共通して目指すことが出来る将来都市像や市民生活像を明らかにし、市役所と市民との役割分担を明らかにする計画として策定すると記載してございます。最後にこのページ1枚でございますが、ここに示させていただいております

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	6/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

す。1 としまして、健康への取組み 安心 健やかなまち、2 番目としまして、自立 めくもり 支えあうまち、3 番目としまして、共に考え 共に歩む 安心のまち、4 番目としまして、豊かな心 明日への希望 育みあうまち、5 番目としまして、安全 憩い 快適なまち、6 番目としまして、おいしい水 安全な水 衛生的なまち、7 番目としまして、環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち、8 番目としまして、未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営、9 番目としまして、市民基点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所というものを将来都市像の案として掲げさせていただいております。今後この将来都市像を市民との皆様のご意見等を伺いながらまとめ、さらにこの将来都市像を実現するための市民生活像はどうあるべきでどのように実現していくかということを含め、今後明らかにしていきたいと考えております。以上で私の説明を終わりにしたいと思います。

(2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

都市計画マスタープランの位置づけ、改定の目的など、都市計画課長が説明。

つきまして総合計画と非常に密接に関係してございます都市計画マスタープランの関係につきまして都市計画課長のほうからご説明さしあげます。

はじめまして都市計画課長の森田です。どうぞよろしくお願いいたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。それでは私のほうから都市マスタープランについて趣旨説明をさせていただきます。それでは私のほうから法律的な位置づけも含めこちらのお手元に配布させていただきました都市マスタープランとは、という資料に基づきましてご説明させていただきたいと思っております。それでは 1 点目の都市マスタープランとは、からご説明させていただきたいと思っております。各市町村が作成します都市マスタープランは市町村の都市計画に関する基本的な方針として都市計画法第 18 条の 2 に定められている法的な計画になっています。都市計画の内容としましてはここに書いてありますとおり、土地利用の規制誘導、道路や公園等の整備、自然環境の保全などまちづくりをするうえでの基本的な計画となります。計画の策定にあたりましては総合計画と則することが定められており、また市民等の意見を反映させることも併せて求められております。座間市都市マスタープランを概念図で示しますとこのような図となります。国・県の計画、市の計画これらを受けて座間市都市マスタープランを作成します。これに伴いまして都市計画の分野別計画、具体的な都市計画としての決定事項が都市マスタープランによって定められます。次に 2 点目としまして座間市都市マスタープラン改定の目的としましては、現在マスタープランは、平成 13 年に策定させていただきました約 8 年が経過しております。この間都市計画法の改正や景観法の制定、総合計画の説明のなかでも触れられておりました少子高齢化の進展や経済情勢、激変する社会潮流等このような背景を踏まえ現計画を検証し、検証した上で時代に即した計画とするための改定となります。なお、計画の策定に当りましては、関連計画との整合に充分配慮して行なってまいります。3 点目の次期計画の計画期間ですが目標年次としましては、総合計画と同じ平成 32 年度を予定しております。4 点目の座間市都市マスタープランの構成としましては市内全域を対象とした

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	7/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

全体構想と市民に身近な地域を対象とした地域別構想、及びこれらを実現するための、実現化方策を定めさせていただきたいと思います。全体構想としましては将来目標、都市像の設定をさせていただき都市づくりの方針を定めさせていただきます。地域別構想としましてはおのおの地域の都市づくりの方針を定めさせていただきたいと思っております。これらの構想を踏まえまして実現化方策として都市マスタープランを推進するための方策を定めさせていただきます。なお、都市マスタープランは総合計画と密接に関係しておりますので次期総合計画と連携をとりながら進めさせていただきたいと思います。以上が都市マスタープラン改定の趣旨説明となりますが、いずれにしましても各種団体との懇談会や今後予定されております各種市民参加の過程で幅広い市民の皆様からのご意見等をお聞かせいただき、都市マスタープランへ反映させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。以上で私の説明は終わります。ありがとうございました。

4. 意見交換

【市役所】

それでは意見交換に入りたいと思います。意見交換につきましては、限られた時間でありますので懇談会が効率良く円滑に進むために、総合計画策定に経験がありノウハウを持つ今回来ておりますパシフィックコンサルタンツの進行支援をお願いしておりますのでご了承いただきたいというふうに思っております。それではよろしく願いいたします。

【コンサルタント】

こんばんは。今お話しありましたあくまで私の役割としましては皆さんの意見、1時間少ししかありませんので、皆さんが円滑に色々ご意見をいただけるように、そして市の方と上手くコミュニケーションできるような、まさしく仲介役のようなかたちで関わらせていただきたいと思います。ですので話をまとめたりとか何か結論を出したり、そういうような役割ではございませんので、あくまで仲介といえますか話の進行役ということで、そういう役割をさせていただきたいと思います。

まず意見をいただく前に、今の市のご説明を少し補足しますと、ホチキス2点留めされている第一節総合計画策定の趣旨と枠組み、横のカッコして上のほうに総論と書いているもの、この後ろのほう見ますとカッコして上のほうに基本構想と書いてますね。この後ろのほうの1枚めくっていただきますと、少しわかりづらいですが、座間市の目指す姿（ビジョン）というのがあります。ここに将来都市像ということでまちのテーマ、今9つほど案を出されているということです。そして市民生活像として、そのまちのテーマに沿ってこんなまちになったらいいな、こんなまちにしていこうかというような今ご提案を市のほうでされている。これらをこれから決まったものではありませんので、皆さんの意見を聞きながら、これから深めていったり、具体的に何をやるかというのをこれから決めていく。そのために皆さんに色々ご意見をいただくと、そういう場でございます。それと時期を同じくして都市計画のマスタープランという

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	8/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

ことで、道路をどうするかとか、土地利用をどうするかとか、そういうマスタープランというのをこれから改定する、作り直すということですのでそういうもの前提として皆さんから意見をいただきたい。その2つの趣旨を先程説明いただいたということです。

私のほうからは将来像とかそういうものに対しての皆さんの意見とか、もしくはせつかくの機会ですので、地区のまちづくりの問題とか課題とか、こんなふうになってほしいな、こんなことはどうなんだろうかということをお今日いかに多く皆さんにご意見いただくかというところでコーディネーターとして進行役として機能させていただきたいと思ひます。

それでは時間もございませんので、せつかくですから今日数かなり多くの方参加されておりますので、皆さんにご意見をいただきたいと思ひますが、ルールとしましてマイクがありますよね。マイクがございますので、ご発言される際にはマイクが届いてからご発言をお願いしたいと思ひます。人数も多いですので、色々ご意見あると思ひますが、まず最初、端的にご意見いただきまして、もし時間があれば後ほどゆっくりといただきたいと思ひますので進行のほうのお手伝いもお願いしたいと思ひます。それではまずどなたか、どのような件でも結構です。はいじゃあ後ろのほうからお願いいたします。

【参加者】

栗原から参りました。意見を言う前に、ひとつ。市役所さんにお尋ねしたいのですが、そちらの方（コンサルタント会社）に進行等をお願いしているのか、理由があると思ひますからそれをお答えいただいでよろしいですか。その次に意見を申し上げます。

【参加者】

市役所の方でまとめることは出来ないんでしょうか。業者を頼まなくて。

【市役所】

ただ今なぜ市役所がという話でございますが、今回のこの次期総合計画につきましては市はもとより、やはり市民の方々のご協力が無いと、ここはご理解をいただきたく思ひます。さらにこの市民の方と行政とがひとつになって計画を作っていくわけですけれども、そのためにはやはり行政だけの力ではなかなか作ることが出来ないというところで、今回私共のほうは市のほうから今申し上げましたコンサルのほうに委託をしまして、あくまでもそれは支援ということでお願いしてございまして、最終的には市が今日の懇談会などのご意見等まとめながら計画を作っていくというかたちで考えてございまして、ひとつそれはご理解をいただきたいと思ひます。これまでの各種団体これには市民フォーラムにつきましても、こういったかたちで意見集約をさせていただきまして。したがって、この地域別懇談会につきましても同様のかたちで進めさせていただきまして最終的に市のほうでとりまとめをして、あらためて皆さんのほうに再度地域別懇談会を14日に開催をさせていただきまして、それが改めてまたご意見をいただき、まとめあげると、こういうことでございましてご理解をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	9/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

【参加者】

ちょっといいですか。会の進め方について。説明ばかりで、質問の時間足りないって言ってね、大勢おられるんで1分か2分で質問も答えも、そういう風に決めてやって下さい。そうじゃないと困るんじゃないか、全体にいきわたらない。

【コンサルタント】

それでは私のほうでもし司会をさせていただけるのであれば、今のご意見に沿って少し時間を決めながら皆さんのご発言を多くご発言出来るようにしたいと思います。今、市からご説明ありますとおりで、我々がまとめて何か作るというのではなくて、あくまでこういう会議を円滑に進めるためのサポートとして今回仕事をさせていただいておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。それでは引き続きまして

【参加者】

私南栗原から参りましたけれども、医療業務についてお聞きしたいんですけれども。私共の市には総合病院がないんですね。市としてはそれについてどういうふうになお考えを持っているのか。内容をみると県央医療圏の定員総数が上回ってるよということになっているんですけれども、県央医療圏というのはどれを指しているのか。

それと、大和や海老名は非常に充実しているんですね。座間なんかは総合病院何も無いわけですよ。そういうものがどういう風になっているのか、他の方もそうですけれども、計画の中に入れてもらってどうにか具体化していただきたいなとそう思うんですけでいかがでしょうか。以上です。

【コンサルタント】

医療の関係で追加、補足のご意見のある方はせっかくです。どうでしょうか。まず現状認識とか県央の地域の説明など、まず市のほうからしていただきまして、ここですぐ即答というわけにはいかないとはいいますが、現状の認識などご説明いただければと思います。

【市役所】

県央医療圏ということでご質問ですが、県央の医療圏につきましては神奈川県内の医療計画の中に定めてございまして、相模川を挟みまして向こう側が厚木、愛川、清川、川の以東のほうにつきましては、海老名、綾瀬、大和、座間市、この区域になってございます。

総合病院というお話でございしますが、この医療計画の中で現状では座間市では従来5つ病院があったというような状況でございましたが、現在2つになってございます。そんな中で病床過剰地域おかしんじゃないかというお考えだとは思いますが、全体の区域の中で考えますと、県の計画の中で過剰地域というようなかたちでご理解をいただければと思います。

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	10/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

【コンサルタント】

これをどうするこうするという話はここで出ないと思いますが、皆さんの意見としてはそういうようなことということですね。それは多分会の最後の最後に、また総括して市のほうからご意見がいただければと思います。その他いかがでしょうか。じゃあ後ろの今手を挙げてらっしゃる。

【参加者】

私意見ですのでお答えをいたしません。私です座間市に着きましてから36年住んでおりお世話になっています。生活の中にいつも感じておるんですが、座間市には商業地域の中で拠点が無いんです。したがって、海老名とかあるいは町田だとか隣のまちに買い物に行く方が沢山いるんです。私、年とってますから色々みてるんですけどね、簡単に言いますと座間からはからっぽになっちゃうんです。ですから利益というものが考えられません。したがって私はちょっと今の経済からみるとちょっと夢みたく話ですけど、やはり市役所の近くに都市を求めて、市道を作ってシャトルバスなど、そういう道をそういう車を、買い物にくるその便を作って、将来的な鉄道の構想を練っていったらいかがでしょうかと思っております。色々私35年間住んでますとね、毎回私東京行くことがあるんですけど、随分違うんですね。医者とかそういうことはいいんですけどね。やはり商業活動をしないとね、やはり市はもたないと思う将来的に。ですから商業についても将来考えていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。直接お答えはということでしたのでせっかくですので、商業関係買い物とかですね、身の回りの関係とかそういうもので皆さんのご意見ございましたらせっかくですのでまとめてといいますか、色々ご意見をいただきたいと思います。今の方の良し悪しというのは別にして、私はこう思いますよというようなで結構だと思いますがいかがでしょうか。それでは手を挙げている窓側の方お願いします。

【参加者】

栗原中央の〇〇です。私は市の職員の方々にライバルというものを見つけていただきたいのように思います。それはどういうことを申し上げたいかというと、座間市が市制になってから綾瀬、海老名、伊勢原、同年度くらいに市制になりましたが、そういったところは今言われた医療、商業地域、シンボルそういったのがどんどん年を追うごとにできておりますが、座間はそういうものが全然、市民のニーズに答えてないです。ましてや職員の削減というのも高年齢化した人くらいしか削減されてない。あの北海道にあった夕張のようなことを踏まえて役所に何べんも思うことは、もっともっと引き締めた顔で業務にあたっている職員を見たい、当たりたいたいというのが実質です。そういう意味で綾瀬、海老名、伊勢原同年度くらいに市制をひかれたとこを私が訪問したときには、やはりある意味で自分たちそのまちその市に住んでそういうものを作っていく計画をしていく、今日ここに示されたばら色の将来像を掲げることよりも、

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	11/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

そういうライバル心を持って同じ年度ぐらいに、ましてや海老名なんか同じぐらいの人口なんですから海老名さんだけが金持ちだなんとか言うことではなくてライバル心を持ってもっともっと市民のニーズに応えるように努力をしていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。商業の関係から今都市間の競争と申しますか、座間市の職員もしっかりと頑張ってもらいたいという話でしたが、どうでしょう今のように色々当然結構ですので、他の方ご意見ありましたらいかがでしょうか。それでは前の方にマイクいただきますでしょうか。

【参加者】

今の方の発言に関連して言いますけど、南栗原から来ました。このやつのいちばん最後に、市民起点柔軟な発想と行動信頼される市役所と書いてありますけど、前段で市民起点で柔軟な発想と主体的な行動ができる職員や市役所に対しと書いてある。これは解することが私にはわかりません。このためにどういうことをするのかというのが市民の率直な感想です。十分な信頼感を持っていますという多分市民はいないと思う。先程の方もおっしゃってましたけど、やっぱり自分が市民になって市役所の窓口に来たとき、どうしてもらいたいかを市の職員の方は、色々忙しいと思いますけど、そういう発想で本当にサービス機関なんだという発想を持っていただきたい。はばったいようですけど、一度、綾瀬市役所行って見学してくるといいと思う。

【コンサルタント】

ありがとうございます。手厳しい意見が続いておりますけども、確認をしますと基本構想の今ご指摘あった部分は将来こうなるべきだと、先程ばら色のようなというご意見がございましたが、こうあるべきだというところでこれをいかにしていくかというご指摘ありましたが、これをいかにするのが大切だといその通りでありますけど、それを今後検討していくと。ですからこういうふうにしてほしい、こうしたほうがいいというのも含めてご意見を頂ければいいかなと思います。どうでしょう続きまして、それでは真ん中3番目の方お願いします。

【参加者】

栗原中央のほうから来ました。今のことに関連してですけれども、行政というのはほとんど完全な縦割り行政ですよね。その弊害が非常に多いわけです。市民サービスに対してですね。これをいかに改善していくかあるいは横割りと言うとおかしいけど横の関連ですね、そういったことに関してほとんどの行政っていうのは色々努力をしていくと思います。いくつかあがったんですね。市長さんに対しても色んなかたちで努力してると思うんですけども、その辺を、もう少し積極的に座間のことを考えていってほしいということをお願いしたいと思います。

【コンサルタント】

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	12/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

ありがとうございます。どういう点を縦割りをよく意識されるとかもしありましたら、ご紹介下さい。

【参加者】

例えばですね、ひとつの市民が複数の関連する場所に、例えば行政のところをお願いに行くと、あるいは要望として行っても、たらい回しになっているわけです。色々なことが。そういったことについて例えば各関係部署で連絡を密にして、対応するとかそういったようなことをしていただきたいなど。

例えばひとつの例なんですけど、例えば市の所有している考え、所有しているものに対して例えば市民が使いたいなといったときに、どういう目的で使ったらいいのかとか、例えば公園の場合だと公園緑政課行かなきゃいけない。例えば集会のところに行くとか協働まちづくり課のところに行かなきゃいけないとかというようなことがあると思うんですけども、市の一般の方っていうのは、どこの窓口行っていいかというの分からないわけです。そういったときに何かそういったどこ行っても非常に上手く連携して対応していただけるようなそういった意味での行政のあり方っていうんですか、市の職員のサービスの仕方っていうものについても一考していただけたらというふうに思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今行政の組織に関する問題や課題についてご意見をいただいておりますが、せっかくですので、関連していただければと思いますけどもいかがでしょうか。後ろのほうの方。

【参加者】

東原4丁目の〇〇と申します。今のに絡んでというかそれも含めて総合計画全体に対して意見を言わせていただきたいと思っております。私ずっとサラリーマンとして企業にサービス系の会社を30年勤めてきてますけれども、これの長期計画と市のつくる総合計画との比較を、この会を開催するにあたってさせていただきました。そしたらですね、今のありましたように縦割りの最たるものだと思うんですけども、中身的に計画がダブっているものが沢山あります。道路の造り方ですか水の使い方、ここらへんの計画があっちにもこっちにも出てくる。それぞれが計画してそれぞれが対処してるということをやっているように思えます。私、第三次の総合計画を今読ませていただいているんですけども、まず、四次になるにあたって企業に合わせるというわけじゃないんですけどもまずはそういった短期計画4年なら4年でいいんですけども、まず市長にですね、市の向かう方向というのをまず表していただきたい。みんながこれを市民が共有できるような、それからさっきも、言ってきましたけれども対抗する市ですね、そういう市との関係上座間市がどういう関係にあって、それに対してこの4年間でどうするんだというような目標計画をきちんと立ててほしい、それに向けて施策がぶら下がるというような感じで、市民が言うひとつひとつの意見を吸い上げてそれを全部計画でこつこつやってって

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	13/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

もそれはひとつひとつ解決してっても積み重なっていかない。要は倍々化していかない、活性化していかない。それが今の座間市の抱えている課題なんじゃないかというふうに非常に思っていますので、そういったところコンサルの人がいるところで言うのもなんですけども、そういう作り方を4次の方ではぜひしていただきたいというお願いです。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ビジョンを持って方向性を明確にしてというご意見だったと思いますが、どうでしょう作り方の話も含めて結構だと思いますが、その他に、はいじゃあ前のほうにマイクもう一度お願いします。

【参加者】

質問が1点、意見のほう、この総合計画に対して意見を申し上げます。

質問はこういう意見を吸い上げる場をやってもらうのは非常にありがたいんですけど、フォーラムを開いたり、地域懇談会1回目2回目も計画されていますけれども、これをどうまとめどう広報し、基本構想、実施計画にどう反映していくのか、これをオープンにする方法を考えているのか、ただやって今までの例ですと、ただやって、説明やって誰が出た、その程度で終わっていると思う。そういうのに対してどう今回はするのか、これが質問です。

意見は3つほど申し上げますけど、1つは住宅地とか工業地帯とかそれから商用地帯とか農業、これを色々個人の財産のこともあって難しい面もありますけども、もうひとつははっきり区分けして、虫食いだとかならないようにお願いしたい。こういう計画を作っていただきたい。今、旧日産の社宅のあたりで工業地帯をやっていますけども、あそこへ行ってもちょこっと農地が入ったり墓場が入ってきたり住宅があったり、あそこで工業地帯で働いている人は大きなトラックもなかなか入れられないとか、騒音で苦情がでるとか、色々でるんです。もう少しすっきりとね、静かな住宅、活気ある工業地帯それから豊かな緑とか農業地帯、そういうふうに少し分けることを考えていただきたい。それが意見1つ。

長くて申し訳ありませんけど、2つ目は協働まちづくり条例だとか景観条例だとか各々例えばセクションで作っていますが、これから多分環境基本計画を作るんだろうと思いますけど、それに基づく多分条例も作っていくかと思えますけど必ず条例間のバッティングするところが出てくるんで、こういうことをちゃんと調整して、そういう条例などを作るときに、まちづくり条例があって景観条例作るときに、まちづくり条例のほうよく理解して景観条例を作っていたらいい。それは必ずバッティングしたりなんなりするんです。縦割りですから説明を聞いても、そっちのことには絶対触れないというのが今までです。今回も総合のやつもそれに伴う条例が必ずつきますので、それらの調整をぜひ指導し、行政側の中で先にやってください。

これは3番目ですけども、ぜひ自治会の活性化、ここに書いてありますけど、これを考えてもらわないと、これからの行政の側でも行政ではこれだけをやります、但し市民側はこれだけお願いしたいといったときに、手足になるという地域がどうか自治会だと思うんです。この活性化策、再生計画とか色々あると思いますけど、具体的に何も無い。ぜひ具体的に出して

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	14/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

いただきたい。4番目ですけど

【コンサルタント】

もう少しありましたらまた次の機会、

【参加者】

財源をこれは今は難しいと思いますけど、どのくらいの財源でこういう総合計画をやりたいんだと、それはどこから財源を持ってくるのか、よく考えて、この計画を作る前に、そういう精査をしていただきたい。あと行政の側の再開発では先程から出てますように、まずはワンストップサービスのものを作って、そういうような大胆な改革をお願いします。

【コンサルタント】

すいません途中で、後ほどまた時間があればまたお願いします。続きであれば次お願いします。そのあとですね、今、ご質問ありました話、この意見の吸い上げとかこのプロセスに対して、あとそれと策定の考え方、先程民間企業のようにというご意見もありましたがその策定のプロセスやこの計画の作り方に対しては、今、ご質問がありましたので、今手を挙げている方の後に市のほうからご意見いただきたいと思います。それでは今手挙げさせていただいた方いらっしゃいますか。

【参加者】

西栗原の〇〇と申します。市の発展は、やはり財源の確保にあるんじゃないかと。やはり大手企業なり、それなりの企業がこちらで日産が要するに撤退していった跡地、そういうものに対する取り組みが今ひとつ市としては不十分であったんじゃないか。日産は厚木に研修センターとかそういうようなものを向こうにつくって行っちゃう。やはり密着している企業がそのまちに長く定着して、それなりの企業の発展を願う。また外部から企業を呼び込むということによって、言っちゃ悪いですけど配送センターをああいうふうに大きく造られましても、車の出入りだけで道路は傷むし、財源は落ちないと思います。なぜかというと運送屋さんが全部外へ出て行くばかりで社宅も、大きくは伸びない、人口も増えない。それよりも企業を呼んで、住宅を増やし、そして、企業の税金をむこう厚木のように何年か無税にしてでも、その企業はそこに定着させて発展させていくという前向きな姿勢に取り組んでいただき、そしてそこに来る家族から市民税なり住民税が落ちるとかですね。そういうものなりをやはり考え方等もう少し取り込んでいただいて、市民財源のことを考えてその中から色んな計画が発展していくと思いますので、その辺がひとつお考えを入れていただくと、幸いと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。産業の大きな連関を踏まえてちゃんと手を打ってほしいということで。

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	15/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

【参加者】

それともう1点お話ししますと、市役所で私がお邪魔したときに旧態依然とした内部の仕事の体制ですね。回覧の文書の決裁にしても、いまだまだ認め印でぼんぼん押して、誰がいつ承認したのかもわからない。一般の民間企業であれば、電子決裁で担当者がいつ押していつその文書を作成した、市民はいつその印を押して承認した、最終決裁はこちらがいつ押したということで電子決裁で全部わかるようになっているんですね。それは認め印鑑でいつ誰が決裁したのかわからない。そして最終決済も要するに承認者もわからないというような事態は実際目にしております。よって内部の事業の内容を仕事の進め方というものを、やはりもう少し民間に倣ったようなかたちでも、旧態依然とした業務の進め方じゃなく最新のOA機器も当然のことながら大いに活用していただき事務の改善を図っていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。先程、ご質問があった点につきまして市のほうから今回の計画の作り方プロセスの話だったり、この計画自体のどういう構成でどんなことをみせるかというようなあたり今の現状で結構だと思いますのでその部分についてはいかがでしょうか。

【市役所】

貴重な意見ありがとうございます。特に、ただ今ご質問いただきました次期総合計画の策定にあたって、こういった地域別懇談会をはじめ、フォーラムについて頂いたご意見の集約を、どういう風に、あらためて市民の方に示すのかということでは言っていましたけれども、まだ私どもの方については今回の次期総合計画につきましてはこのご意見をいただいたものについては各ジャンル別といいますか、例えば福祉あるいは道路、こういったものに集約をしてやはり出来るもの出来ないものは明確に基本的に意思表示はさせていただきたい、こういうふうに思います。それにつきましてはある程度集約したなかで皆さんに改めてご報告あるいはホームページになるかどうかわかりませんが、明らかにしていきたいと考えております。

さらに今回の次期総合計画の目的のひとつとして、目標を明確にしないと、やはりご理解いただけないと思います。そして、やはり実行性のある計画じゃないといけない。10年ということで今回計画をさせていただきましたけれども、10年というのはあつというまに過ぎてしまう。そんなことが言えるかと思しますので、やはり実行性、実現性のある計画を作ってまいりたいところで、やはりそのへんは出来るもの出来ないものをはっきりと区分しながら進めてまいりたいとこのように考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それではご意見として、今行政の仕事の仕方であったり、今回の計画の作り方についてのご意見が多かったと思いますが、そこにこだわらず皆さんの日常生活の中で色んな問題とか、こうなってほしいとか子育てはとか、介護はとか、色々あると思いま

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	16/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

すので、どうぞ色々な多様なご意見があるのを前提に皆さんお話しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。どうぞ遠慮なくせっかくですのでご意見下さい。

【参加者】

2回目ですけども、東原の〇〇です。意見を、環境に関して次期にきちっと入れていただきたいというふうに意見があります。つい先日、鳩山内閣になって、国連のほうの会議で20年までに25%のCO2削減という明確な目標を国際的に宣言してます。それに対して当然それぞれの自治体、県は当然だと思っんですけども、座間市についても細かい、確か三次計画のときは温暖ガス、CO2に絞らない、CO2だけじゃなくて全体での数値が出ていたかと思うんですけども、CO2の削減目標というのもきちっと入れていただきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今環境の話が出ましたけども、環境の話は多分これは特に市民の皆さん25%だと行政のほうの話もありますが、皆さんの生活で25%減らさなきゃなりませんので、どうでしょうこういうようなことを例えば市は先導していったらいいんじゃないかとか、もしくは市民に対してこういうことをちゃんと周知しなきゃいけないんじゃないかとか、そういうようなお話がありましたら、まずは環境の話がいいと思いますが、それ以外も結構ですが環境の話などご意見、ご提言ございましたらお願いしたいと思います。とても数字で言うのは簡単なんですけど、実際に自分の生活に25%考えますとなかなか難しいと思いますが、やるとなると皆さんどうしたらいいのでしょうかということで、どうでしょうかご意見のほうは。

【参加者】

栗原中央の〇〇と申します。今の進行係の投げかけられた問題とちょっと違うんですけども、この今日の計画をみますと非常に今この市を取り巻く環境とか、それから例えば一番最後のページの市の目指すビジョン、これらについても非常に抽象的なことが書かれていて大きな市が国がこういうことをしているというのも、こういうふうにしていきたいんだというような、たたき台的なものがもう少し具体的でなくてもいいですよ、もう少し考え方も含めて形として出てこない、この短い時間の中で皆さん方から色々意見を聞きたいと言っても、実際に出てくるのかどうか私も疑問に思います。もう少し一般の市民の人たちが意見を出せる、市がこう考えてるけどそうじゃないよ、もうちょっとこういうふうにしてほしいというふうに見えるような内容が提示されていないのが非常に残念だなと、全く白紙のものを見せられても、白紙の状態、失礼ですけども、皆さんこういうことをしてほしいですか、どういうことを望みますか、これ言いたい放題のこと言っちゃったら先程意見色々出てますけども、財政との問題だとか色々な関係でそれは極端なことを言うと、出来ません、そういう答えが数年後に返ってくる、そういうようなことが本当にいいんだろうかと。もう少し市のほうの具体的、具体的に言っちゃいけないんですけども、大まかな考え方をまとめたひとつのかたちを出していた

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	17/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

だいて、それに対してどうだろうかというような格好でぜひ声を聞いていただければありがたいなというふうに思っております。以上です。

【コンサルタント】

進め方の話としてももう少し具体的に、具体的になるのはもう1回この場があと数ヶ月後にあるとは聞いておりますけれども、皆さんのほうから具体的な話を提示してほしいと。今現状ではそういう意味では白紙とまでは言わなくてもこういう大きなビジョンといいますか、こういう方向性まで出ておりますので、それに向かってまずは、結びではまず白紙の状態から皆さんのご意見をいただくというスタンスだと思いますので、そこについてですね、そういう意味では今こういうふうなことはどう思っているのかどう考えているのかというところから今日はお話をいただいたほうがいいのかと思いますけれども。これでは今日でここでお終いだといわけじゃなくて、またかたちが出来たからまたお話を聞く機会があると先程市のほうで説明がございましたので、それはそのときまたあると思います。でするのでその手前の話としていかがでしょうか。こちらの奥の方ですねお願いいたします。

【参加者】

南栗原から参りました〇〇と申します。よろしく申し上げます。私は財源とかそういうのがよくわからないんですけども、いつも私が感じていますのは道路なんですね。川があったりとか大きい246であったりとかということ、他よくわからないんですけど、起伏が坂がということもあるのかと思いますが、直角に交わっている道、平行四辺形になってるみたいなちょっとずれたかたちで合流してまたとかそういう道がすごくあって、またこれ多分昔に比べて車が増えてきたということだろうと思うんですが、ちょうど交差点に信号をつけるだけで何か終わりに整理をしておもうとしてるように見えるんですね。そこを何か、特に細い道なんかをすごく車が往来が激しくなってきたときも、そのまま何もされないし。そこに大きなマンションが立ったし、そういうようなこととかがよくわからない。子どもへ自転車の乗り方とか警察のほうでやっていただくんですけども、それに適応するような座間市の道が無いと思います。ほかのところだと、例えば、集中的な道路が混む区間、そうじゃないところは、黄色の点滅にしてみるとか、そこをちょっと考えて。それをこういう中に織り込んでいけるようなことでしたらと、こういう質問をしました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今生活の道路の話が出ましたが、そういうようなまず話で結構だと思しますので、いかがでしょうか。後ろの方お願いします。

【参加者】

東原から来ました〇〇と申します。先程の方も言われてらしたんですけどたたき台が全然ないから何をどういうふうに話していいか、非常に曖昧状態です、今聞いてて。それでひとつお

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	18/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

聞きしたいんですけれども、座間市というのは日産が撤退してから非常に財政的に厳しいというようなことを聞いてます。私まだこっちへ来て15、6年ですので詳しくはわからないんですけれども、例えば日本の国の予算がこの間新聞で出て、ここ10年くらい80兆とかいわれてますよね。ただし実際の国の収入というのは40兆から45兆くらいだと、じゃあその分はどうするのかということ、赤字国債だと。非常にわかりやすいです。要は収入よりも借金して国家予算を組んでると、そういうざっくりしたかたちでお話していただきたいですけれども、今の座間市の予算、国家予算は80兆ですけど実収は40兆ぐらいで赤字で30兆かそれ以上が国債ですと、今座間市の今言ったざっくり言ったところでどういうふうなんでしょうか。これざっくり言っていただきます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。先程財政の話は出ておりましたので数字的な話ですね、ざっくり今お話できますでしょうか。

【市役所】

今国の予算の関係で座間市の財政について言っていました。本当にざっくりで大変申し訳ないですが、今座間市のいわゆる一般会計総額を見ますと約310億円。これは歳入・歳出ですね、同額ですけども、約310億円程度になってございます。特に今言いました歳入の部分ですね、入ってくるほうの金額でございしますが、この中で特に私たちが収めていただきます市税の関係につきましては310億円のうちのですね、約60%、180億円程度が市税でまかなわれている。言いかえますとこの180億の、いわゆる自由に使えるお金ということで理解してよろしいかと思います。その残りまして130億という部分について、これはいわゆる今話題になっております国庫補助金、県補助金の部分ですね。いわゆる市で生まれるお金じゃなくて国からいただいて事業を執行している補助金関係となります。それと大きく分けると、実は国の方から地方交付税こういったものが収入として入っています。これがいわゆる標準的な市が支出に対しまして不足する部分について国が面倒を見ているということで、これについては以前は30億近くいただいてたんですが、今現在では3、4億という、こういうふうでございまして、自主財源が180億ということで理解していただいてこの180億円をいかに歳出のほうの事業にあてるかということでございまして、この際ですから参考に申し上げたいですが、歳出のほうですね、逆に見てみますとこのうちの約100%近い数字、92、3%が実は義務的経費といまして削減が難しい事業にあてるわけです。これは大きくですね人件費、それから扶助費それから国等から借金をしています、これの返済にあたりまして。この3つをあわせると約180億近い数字になるということで、残念ながらせっかく貴重な税収をいただいたものは全てそちらのほうにまわってしまっていて、非常に財政状況が硬直といえますか、という状況でございまして。ですから、私共はほかの部分はいかに切詰めて、今言ったこの180億を有効に使うかということで毎年予算の方で考慮しておりますけれども、こういう状況が毎年続いているところです。さらに今後の状況をみますと今言いました人件費それから扶助費、公債費と

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	19/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

というのは残念ながら年々増加して。こういうこともございますのでやはり歳入は、失礼しました、その中に扶助費が増えています。さらにこれは、内容を申し上げますと、生活保護の費用が残念ながら増加傾向にあるというのが現状です。いずれにしても、いわゆる歳入がいかにか確保出来るかによって歳出が決まるということで、今申し上げた次期総合計画につきましても先程からご意見いただいております財源ありきの計画をしないと、まさに絵に描いた餅になるということで、この財政計画につきましてはこの次期総合計画にあわせて、今日はちょっとお示しはしておりませんけれども並行して検討をしていきたい、このように考えております。

【コンサルタント】

今のようなご説明でしたけどもせっかくですから再度ご質問と補足の説明もあればまずはお質問のほうをお願いします。

【参加者】

だいたい今のわかりましたけども、確認したいんですけどよろしいですか。いいですか今答え方誰ですか、いいですか、確認します。市の予算は310億と言いましたよね。これは今年度の予算ですね、310億。それで税収は180億ですよ、そうするとこのマイナスの130億が発生するということですよ。マイナス130でしょ、その130はどこから手当してるわけ。

もう一度ちょっと確認します。予算が310億で税収が180億しかない。マイナス130億ですよ。普通の市民生活はそんなことありえないですよ。そういうお話で、130億はどこから手配しているわけ。

【コンサルタント】

まずその質問に対して、これは多分今の日本の地方行政のお話になりますので、今の件ですね。

【市役所】

説明がまずかったので今の部分について説明いたします。全体の予算が310億円、このうち市税で入ってくる部分が180億円、残るその130億円につきましてはこれは依存財源と申し上げまして先程言いました国・県の補助金。これが130億円の中に入っております。それとあわせて起債といいます借金ですね、部分が入ってそれが合わせた数字が130億円。それからすみません細かい部分については

【参加者】

単純に起債がいくらって言ってくればいいですよ。借金でなかったら。

現在執行している予算だったらもっとすんなり答えられるように準備しておいてくださいよ。

【コンサルタント】

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	20/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

少々お待ち下さい。

よろしいですか。

【市役所】

お待たせしました。財政課長の佐藤と申します。今うちの部長のほうからお話がありましたように全体310億あります。その中で市税等が180億、残りです国、県その他に使用料だとか負担金があります。そういうかたちの財源も増えてます。その他に先程言いました地方交付税、その他に先程申しましたように市債というものがございます。それは27億大体あります、それで全体で310億万を予算となっている、というかたちになります。以上です。

【コンサルタント】

よろしいでしょうか。続けましてよろしいですか、他の方よろしいですか。じゃあ続きでお願いします。

【参加者】

今の質問はこれ以上はしません。しませんが、今のような状況聞くとですね、非常に不安です。例えば私は毎月市民税を取られてますけども、もうそろそろ収入が無くなる年齢に近づいてます。年金ですね。こんな状況ではたして座間市で暮らしていけるのかなと、市民税が高いなり、財源がない、財源がないような10年の第四次計画、これ財政的な手当てなくてなんでそんなことが言えるのというのが不思議ですよ。国は今言ったように平気で国債赤字出してもなんとかもっている、個人の私なんかからすると自分の収入を倍に生活することはありえないんですよ。それは国を問わずあるいは地方の座間市においても考え方一緒だと思いますよ。個人はなんとか自分の中でやりくりするけれども、個人以外の行政、市、町、国、平気でまるっきりに考えてない、座間市もそのとおりじゃないですか。こんな状況で何が第四次、抽象的なこととか、具体的に例えば今回の選挙で民主党が勝ちましたけれども、脱官僚とかムダ全廃とかこういうのをやりたいっていうはっきりした主張があったでしょう、それが良いか悪いかなんかは別にして、そういう先のいわゆるたたき台が何にもなくて意見をご拝聴たって何を言ったらいいんですか。ましてやこの財政の体たらく、何が出来るんですか、非常に疑問に思います。このまんまあと何年かして年金生活になって市民だけが払う。だったら座間市から逃げ出すしかないと思う。そんな感じがします。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今厳しいお話をいただきましたけれども、多分この地方財政の問題は全国どこも同じ話がありますが、いかにこれを乗り切るため、いわゆる協働していきましょうというようなところが今言われているとこだと思います。なかなか簡単にはいかないと思いますが、皆さんまた具体的な話が出る機会は当然あるということですし、これを含めて

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	21/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

財政の推計もしながら、またご提示する機会があると思います。今日はちょっとそういう意味でなかなか言いがたいというご意見もあると思いますけれども、せつかくのこういう機会でございますので、こういう状況であればこうしたほうがいいんじゃないかなるか、もしくは今減らすだけじゃなく、こういう市民の力を使っていけばこういうふうがいいまちが出来るんじゃないかとかですね、そういう話を含めていただけるといいかと思いますがよろしいでしょうか。前から2人目の方お願いします。

【参加者】

司会者がしゃべりすぎだと思えます。

3点ほど意見を言わせていただきます。

東原1丁目の〇〇と言います。1点目は環境ですが、市のほうでも環境についてはいろいろとされていて、特に、ゴミをそのまま燃やさないあるいは枯れ枝、枯れ草などそのままゴミに出さないというかたちで、生ゴミ処理機を買ったら補助を出しますとか、あるいは枯れ枝の粉碎機を買ったら補助を出しますとかっていうふうな取り組みをやってると思いますが、あれそんなに広がっていないんじゃないかなって思うんですね。少なくとも私の周りでは、ああいうのほとんどいないんですが、結局それは個人に負担かけてしまっていますから、せめて自治会とか地区ごとに何かそんなものを提供してくれればみんな利用できてやりやすいのかなというふうに思います。

それから緑の問題で言えば桜並木がありますが、あの桜並木のところに行きますとこの桜並木はいつ頃から植えられて、大変その時代の人たちが苦勞して育てたものですからみんなで大事にしましょうというそういうのが非常に格調高いうたわれてるわけですが、一方では道路広げるためばっさり切られてあるいは何か台風で折れたと言って危険だからと言って、ばっさり切られてそのままになってしまっているというの、何か変だなっていうふうに気がするんですね。そういう危険なものならば倒れる前にもうちょっと手入れをすとか、そんなことをやって、ああいうものはやっぱりきちんと残しておくことが緑を大切にする上で大事なことはないかというふうに思います。

2点目の市の対応についてですが、先程から税金が高いとか、水道料金が高いとか色々高いものはきっちり取られるんですが、非常に気になっているのは市が出している広報とかそれから市議会のたよりとか、そうなのが新聞の販売店に委託しちゃっているんですね。あれは結局新聞取ってない人は手に入らないことになりますよね。税金は取られながらも、そういう情報が手に入らない。コミュセンとか何とかにあるとこ行って読めばいいじゃないかと言いますが、そんな問題じゃないだろうと。特に選挙公報が配られないっていうのはやっぱりいかがなものかと思っちゃいますね。憲法で定められてる参政権を侵害するのではないかなというふうには私は思うんですが、ただああいうような税金を取っている以上はそういうのきちんと細かく配る必要があるのではないかというふうに思います。

4点目の自治会についてですが、先程どなたかもおっしゃってましたが、大変、今、自治会厳しい状況で特に高齢化になってきてどんどんどんどん抜けていくというそういう状況にありま

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	22/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

すから、その中では市が言っているふれあいとか育み合うまちとかそういう生活にはなかなかなっていないというふうに思うんですね。それぞれの自治会でも、かなり苦勞して声かけて呼びかけていますが、なかなか入ってくれないようなところもありますので、やはり市としても、例えば転入者に対しては必ず自治会に入るようにということを強くお願いするとかですね、具体的な手立てをぜひとっていただきたいというふうに思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。そちらの窓側の後ろの方お願いします。

【参加者】

南栗原の〇〇と申します。自治会の件ですけれども、退会者が出たということですね。ここで中では自治会の活性化が求められますって書いてあるんですが、まず、市役所の職員自身が辞めてる方がいないかどうか、自分のところからですね、まず、調査してまず辞める方々はやっぱり市の職員じゃなくて、私たちが雇ってるんですから辞めてもらうとか、それからアルバイトとか派遣の方にも市の方として自治会に入らされて自治会に積極的に活動しなさいよということ呼びかけてもらって、入らないと辞めてもらうというふうにしなないとなかなか自治会の活性化にはならないなと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。自治会の加入率を上げる手立ての話ですね。いかがでしょうかその他の方。後ろの方からお願いします。

【参加者】

東原から来ました〇〇と申します。ちょっとお聞きしたいんですけども、本市は県1人あたり保育所数は県内で2番目、県央地区で一番多いということで、私もお世話になっている一人なんですけれども。保育園を出まして小学校に入って、そのあとに児童ホームに行くようになりましたが、児童ホームの開所時間というのが短いように思いまして、これは時間についてはどういった感じでお決めになっているのかお聞きしたいんですけども。

【コンサルタント】

ご質問ということでよろしいですか。ひとつひとつでよろしいですか。わかりました。ちょっとお待ち下さいね。今のお話で決め方といっても明確に答えが出るかどうかですが、児童ホームの時間の話ですね、決め方についての考え方っていうのはいかがでしょうかということですから、計画の中には出てこない話ですが。

【市役所】

児童ホームの関係につきましては、小学校が終わったあとに児童保育をお願いしてるわけで

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	23/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

ございますが、最近では1時間延長をして児童ホームを改正したりというような対応をとらせていただいているところでございますが、就労等の絡みで申し上げますと、今後、そういった課題もひとつは問題になるかと思っておりますのでご理解いただければと思います。

【コンサルタント】

ご意見としてはもっと延ばしてほしいとか意見を聞いてほしいとそういうようなことですね。追加でご意見よろしいですか。

【参加者】

今6時半まで、夜は6時半まで、1分2分遅れてもいけないというのは決まりなのでしょうけれども、そういう風にして、何でそういう決まりになっているのか。帰る時間はまちまちだし、5時にきっかり終わる仕事じゃないし、もうちょっと柔軟に考えてもらいたいと思います。

【コンサルタント】

その他のご意見として、先程手を挙げていただいた前の女性の方いらっしゃいましたのでお願いいたします。今マイク参りますのでお待ち下さい。

【参加者】

南栗原の〇〇と申します。自治会に加入されてない、脱退される方が多いっておっしゃいましたが、うちの方の地区としては具体数は100以内なんですけど、わりかし抜ける人がいないわけなんです。それに対しては、皆さんとご近所の方に、確かに市役所では自治会に入らなきゃいけないんでしょうかって新しい人が聞いたらいいんですよ、そうすると任意ですっておっしゃるらしいんです。任意ということは自由ということですよ、だけどやっぱりうちのほうへ越してこられる方はそういうふうに言われたんですけど、それはやはり入ったほうがいいですよ、地震とか色々な、私たちは女性としては簡単なわかりやすい内容を話すんですよ、そうするとなるほどということ、市民レクレーションなんか栗原であるときには、一緒にそういうところに誘って楽しくしてるんです。そういうやり方を市で任意ですって言うと、ちょっとひっかかるんですよ、新しく越してきた人は、事実、2、3軒うちのほうに越してきた人に言われたんですけど、そうですかそれはちょっとねって、こういうふうにうちのほうの考えとは違うんですけど、と答えています。そこの市の方がもうちょっと具体的に自治会ではとてもいいってことを任意ということその言葉が正しいのかな、どっちなのかなって思うんです。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。自治会加入の促進についてのご意見でしたが、そのあたりは後ほど最後市のほうからもご発言があると思いますが、いかがでしょう、その他の方の意見として。前のほうからお願いします。

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	24/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

【参加者】

南栗原の〇〇と申しますけど、先程の生ゴミの処理の問題でご発言ありましたけども、高座清掃組合のほうに、確かあの焼却炉は2基あって150t炉と200t炉、そのうちの大きいほうですか、焼却を時期がきて使えなくなっちゃうよということを3年前にもお聞きしたことがあるんですけども、そのあとも150t炉1基になっちゃうんですね。そうするとやはり、ゴミの減量化というのは必然的に必要なことになるんで、生ゴミ処理機を1軒1軒今やってるので、2/3補助ですと、あれとかもっと工夫したらいいんじゃないのかなと。そういう生ゴミに処理をしてそれぞれ減量化して生ゴミとして出すというようになればごみの減量化に繋がってくるんじゃないかなというひとつの案があるんですね。

それから200t炉の問題はどういうふうになったのか、それをわかるようにお知らせいただきたいと。新しいものにすると、tあたり7000万ぐらいかかるって言われているんで、とてもじゃないけど新しい炉は造れないよということをちょっとお聞きしたことあるので、現状どういう風になっているのかちょっとわかるようにお知らせいただきたいと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。お時間もせまっていますので現状の状況だけ市から一言ご報告願いますでしょうか。

【市役所】

焼却炉の関係でご質問いただきました。現在、高座清掃施設組合のほうで200t炉と150t炉が稼動しております。こちらにつきまして平成25年度に建替えの更新予定でしたけど、内容を確認しましたところ、まだ5年間継続使用可能という評価結果がありまして、平成30年を目途に更新をする方向で、今検討しているところでございます。高座につきましては海老名市さんのところに焼却施設が昭和42年から建ってまして、50年くらいご厄介になってますけれども、なるべく私たちもごみを出さないようなかたちで焼却施設建て替えにつきまして今トン7000万円とかいうことでおっしゃっていましたが、莫大な費用がかかりますのでなるべくゴミの削減を図って、ゴミを出さないようなかたちをして焼却炉の耐用年数をのばしていきたいと思っております。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。かなりお時間もせまってきましたのであと残り1人2人、じゃあ今手を挙げてらっしゃる方まずお願いいたします。後ろから2列目の方ですね。

【参加者】

栗原中央3丁目の〇〇と申します。道路整備のことでこれからの市の検討をお願いするんですけど、私、市道15号線の庚申神社から農協の間を通る道路のところに住んでるものんですけど、

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	25/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

日産が撤退されて、その後に運送会社が入ってきました。それでまた、そのおかげでもって、15号線の道路に、もの凄い交通量が増えて朝の場合は大型トラック、トレーラー、十何トン車と言うんですかね、あれ相当増えてるんですよ。それでもって歩道のことなんですけど、歩道が学校側栗原小学校側に歩道ができてるんですけど、市街化区域である反対側、今建設中のコミュニティセンターですね、あそこっていうのは歩道っていうのがないんです。これは今の道路現状からみて、歩道っていうのは絶対必要だと思うんです。道路のほうがすごく幅広く取ってあって、反対側に歩道がないのはもの凄く危険なんですよね、そこをなんとかこれからの市の道路整備で考えていただきたい。それとこれからの座間市においても道路整備というものを続けるには、市民、住民を主体に物事を考えていただきたい。また、その産業は別として流線を産業道路という、産業も大した産業もないし、道路も産業道路もないからそこまで考えることないんですけど、我々市民からしてみれば市民が安全な道路を、これを、ぜひ、ひとつ整備の段階で考えてやっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。後ろのほうでも手を挙げてらっしゃいますね、まず後ろの方お願いします。

【参加者】

この度ちょっとずれた話になるかもしれませんが、1つは芹沢公園があるんですが、そこに北側と右側、右側はブランコがあるんですが、その隣が公園墓地がありますけれども、そこに水溜りが溜まりまして通行が出来ない、歩行者も歩行出来ない、こういうことでまたまた我々の市民税を使って、水溜りにご注意くださいという立派な立て看板を建てております。しかし現状をみますと、十メートル先に整備され、すでに整備されてる側溝を、そこを作業すれば、その水溜りは回避出来るんです。これは僕本当にこれを反発したんですがね。道路課が設置したんでしょうけど、道路課の恥塗りじゃないか、あの看板は、ずさんな工事をしたという証明と言うふうに見えてしょうがない。これをひとつ早急に解決してほしいということが1点。

第2点は、敬心会の老人ホームありますが、あそこはやはりホームの職員の方がいろいろ働いていて、人が出入りしています。これが出入りが非常に水溜りのために雨がちょっと降り出すと1週間ぐらい通行出来なくなる。行き止りの道路ですから溜まっていいのかもしれませんが、非常に使い勝手が不便をきたしている。これもひとつ、解決をしてほしい。

それから先程〇〇さんからご意見ありましたけれども、歩道の無い道路が出来てしまったということは庚申神社から相武台に行く道路の、あのシータンという水があがって通行できなくなる、あの箇所には全く歩道が無い。両側に無い。あれはもう十数年前から計画されて出来上がったわけですね、私は道路課に行って、これで事故が起こったら、市の責任ですよと、人災の事故ですよということを申し上げて、脅かしじゃなくて、私実際に歩いてそう感じる。ですから少なくとも白線にしている片側でもいいからポールを立てると、安全ポールを立てる。ガードレールを作ってくれればなおさらいいということが1点です。

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	26/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

【コンサルタント】

そろそろお時間もせまっていますので、他の方もいらっしゃるので簡潔にもう1点お願いいたします。

【参加者】

栗原高校が座間総合高校に変わりました。高校生が増えました。あそこは県立ですから、市の所管外か知りませんが、水が溜りだすと1週間も10日もグラウンドが使えない、それでひとつ学校に伺いまして、どうなさっているのですかと伺いました。そうしたら体育教科の先生が非常に不安で、授業内容を変えなきゃいけないということで、県も色々工事やっているけど一向に解決出来ない、これは管轄外ですから市から排水について進言を県にするということとは可能だと思うんですね、そういうことで県のほうに話しするべきだと、いう意見です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。

【参加者】

もう1点

【コンサルタント】

一言でお願いします。

【参加者】

これは賭博の問題ですから、最後にします。

【コンサルタント】

もう1方、今手挙げてる方で最後にしていただいて、今もう1点とおっしゃった方は最後の今手挙げた方が発言された後に短めにお願いいたします。

【参加者】

西栗原の〇〇ですが、これから、やはりまちの財政・人口につきましては、要するに高齢化になってきます。当然のことながら今フレンドバス、利用されていますね、聞くところによると3台で月1万、1台で1万円ぐらいの売り上げにしかなくて、それに対して支出のほうは何十倍も出て行くということが垂れ流しのような状態が続いている。これを関連部署の人に問い合わせてみますと、今試行段階だからということで逃げられてしまって明確な市に問合せの回答がこない。そういったまずひとつここで公表していただきたい。

それと同時にそれだけの財源があるならばその財源を高齢者の福祉のほうにまわしていただ

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	27/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

くような未来像を計画の中にお取り込みいただいて、高齢者の75歳80歳病気になって病院に向かうときにはタクシー券を配布するとか、そういうようなかたちでの、要するに夢あることを織り込んだことに使っていた方がいいんじゃないかなとそう思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。時間もあれですので回答は後ほど最後にいただくとして、今のお話バスの運行の状態といいますか財政的な問題ですね、それについて一言答えがほしいということでしたが、最後もう1点という方すみません手短かにお願いいたします。

【参加者】

ご存知の通り、座間、我々13万人の市民のもっとも安心安全の場所である市役所内で賭博が発生しまして、これは全国版で座間市の名を売ったと、この責任は非常に私は重いと思います。懲戒処分かそれから依願退職をさせられたということで、しかし、その後広報にも載らない新聞にも載らない、一体あの責任を市長としてどういう責任を感じているか、その所見を伺いたい。

【コンサルタント】

最後に厳しいお話で締めていただきましたが、道路の話でご説明具体的な話でこの点は事実誤認があるかもしれないとそういう意味で道路系の話でご説明したほうが良ければお願いしますし、なければ最後に市のほうから一言といいますか、まとめのご説明をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

【市役所】

今、これから高齢化が進む中で公共交通の関係で、タクシー券という話もおきましたけれども、今、お話しありましたように今現在は試行運行ということでコミュニティバス運行させております。やはりその、これで今までの結果が満足とは思っておりません。ただ、座間市のこの道路事情といいますかを考えたとき、さらにはこの関係につきましては国交省の許可も受けなければなりませんというのもございます。さらにはバスの運行をするにあたって、当然警察の許可等もございます。したがって、今の座間市の道路状況からしてコミュニティバスの運行数については今現在5つの地区で試行運行しておりますけれども、これにつきましては今後アンケート調査も予定してございます。そういった中で、やはり市民に皆様に少しでも利便性の高いかたちの中で実行してもらいたいと思いますので、それについては今しばらく時間をいただきたいなと思っています。この関係につきましては費用対効果からというかたちからすれば、これは当然残念ながら費用対効果からすれば効果は非常に低いとなっています。ただ福祉の部分、お年寄りだとか、お子さんだとか。

【参加者】

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	28/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

1台あたり幾ら経費払ってるんですか。

【市役所】

1台あたり1200万くらいだと思います。料金等で返ってくる部分が200万前後だと思うんです。200万から300万程度。全体(3台)です。

【参加者】

1台あたり1200万払ってて、3600万払ってるわけでしょ。3600万払ってて200万ぐらしか入ってないですからね。だから、そういうものの見直しをしていただいて財源垂れ流しでまずく執行されてるんじゃないかと高齢者にタクシー券を配布するなりして、市役所に行くのは高齢者って言っても高齢者が市役所に行く回数なんてごくわずかになると。乗られる方の利便性を考えるならそういうかたちでやっていってタクシー券を配布されたほうが安く上がるんじゃないか。

そういうものを折り込んだ政策を未来が明るいうちに実行していただいて明るく高齢者が過ごしてしていけるようなかたちのものを作っていただきたいというお願いです。以上です。

【コンサルタント】

これはそういうことで受け取っていただければと思います。お時間もきたと思いますので、最後に今日のお話に対して市民の方からの意見に対して、市のほうから一言ご意見がございましたらお願いいたします。

5. 市長挨拶

それでは時間も9時を経過しましたがけれども、私のほうから今日いただいたご意見も踏まえて市としてのお話をさせていただきたいと思います。

まず、冒頭ですね皆さんに大変なご心配ご迷惑をおかけしました市役所、厚生会室においてあったトランプ賭博の件でございます。本当にこれはあってはいけないこととございまして私も非常に今回断腸の思いで処分を下させていただきました。

私といたしましては、それ以外にも窓口サービスのワンストップサービスの課題ですとか、縦割りの弊害の話ですとか、色々と職員の質やあり方に対してのご不満を今日厳しいご意見を頂戴いたしました。これはやはり今回の不祥事についても共通の部分があるかと私は認識をしております。そういった点を踏まえてつまり、これをひとつの契機に、考え方を180度変える、市民にとってのサービスをするのが行政の立場、市の職員の本来行うべき業務である、この原点に帰る、その大きなきっかけとしてとらえなさいということで各課ごとに課内会議を開催させて今回の課題、それから今、各案からいただいたご批判等に対してどうとらえていくのかということについてそれぞれ取り組みを考えさせてレポート書かせていただいております。さらにこの件についてこの中にこの行政厳しい時代に立っている行政のあり方というものから、これはともかく終わった話でございますけれども課長以上のクラスの他の

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	29/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

職員に対して私の方からの訓示、色々な部分で私は民間の企業、経営者という立場でこちらの行政に入ってまいりますけど、皆さん今日おっしゃっていただいた部分全く昔より感ずるところがいっぱいございます。そうした点も踏まえてお話をさせていただいて参るということでございます。

そうした点で今日、具体がない中で意見の出しようがないじゃないかというお話をいただいたわけでございますけれども、あえてそれについては今日本当に忌憚のない厳しいご批判をいただきました。こうしたご批判をいただくということもこの私もの後ろにいます職員にとっては得がたい経験になるわけでございます、これを踏まえたなかでの取り組みをさせていただきたいというふうに思いますし、そうした部分もきちんととらえた中でも総合計画の策定をさせていただきたいというふうに思います。

戦後、今年で64年になるんですけれども、この座間のまちというのはご存知の通り、今日ここにいらっしゃる方もおそらく、先祖代々居住されてる方よりも外から引っ越してこられて住まれた方のほうがはるかに多いんじゃないかと思えます。13万人弱の市民のうちのおそらく9割が外から来られた方たち、そういう方たちが日本の高度成長にしたがってまさに東京のベッドタウンとして横浜・東京のベッドタウンとして人口が増え、都市化が住んできたこのまちの中に住まれるようになりそうしたなかで色々な課題、問題というものについて危機感を覚えどうしていくんだ、どうしていったらいいんだろうということについての認識というのをお持ちになってらっしゃる。今日はそれをひしひしと感じさせていただいたわけでございます。道路の課題ですとか、こういった点についても、都市計画というものと実際に都市計画というものに先んじて進んでしまう都市化の波というものをこの矛盾というものがこのまちに全て凝縮をしてるわけでございます、そうした現実というものをきちんととらえながら、その中で何が出来るのかということを考えていかなければならない、それをきちんと計画の中にうたい込んでいかなければいけないというふうに私も思っておるわけでございます。医療機関の関係の話もございました。これは県央医療圏という考え方が医療福祉部長からお話をさせていただきましたけれども、実際、市民感覚に立てばこの座間には病院がないんじゃないかと、綾瀬もそうだ海老名にはいっぱいあるんじゃないか大和には市民病院もある、これは当然の感覚だと思います。そうした中でこれから先高齢化進んでいくのに近くに二次救急をする医療機関がないでいいだろう、私もそう思います。ただ、これはこれも財政の話に合わせてですけど、座間市単独で出来るお話ではなく、県、国、この三位一体となった中での地方行政があるわけで、これも私も立場で入ってそこの限界というものとその中でどう取り組んでいったらいいのかその工夫の仕方というものについて色々考えるところがあるわけでございます。この医療機関の関係については当然私どもだけで成し得る話じゃないわけでございます、県や国に対しての要望をきちんとやっていく。近いところに万が一のときに自分たちが駆け込めるところがあるかないかというのは大きなこれは市民にとっての財産になるわけですし、こうした点の取り組みというのはやはり計画の中にきちんと取り込みながら示していきたいというふうに思うわけでございます。

また、財政の話がございました。どうしても今日私部長たちの説明を聞いてますと、やは

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	30/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

り役人だなど思うんですけれども、私どもの座間市310億程度の一般会計という話がありましたけれども、その中で20数億円の市債をおこしている、いちばん関心がある借金だと思います。国があの通り、今回は民主党政権になって概算要求が97兆円という額に膨れ上がる、先ほどの話からしても国が税収の倍額もの概算要求というのが集まっている。これというのはやはりそれだけやらなきゃならない施策というのが国においてもいっぱいあるんだということの裏打ちでもあります。私ども20数億円の市債発行しておりますけれども、それを上回る金額の返済をしております。私ども座間市では年々先程申し上げたように1番ピークだったのは、この座間市の核作りそれから下水道の面整備、こういったようなものを集中的に行った第三次総合計画の前期の部分、そして後期中期までの部分、ここで都市基盤整備をしてきた部分の市債については年々返済進んでおまして、減ってきております。そうした努力も間違いなくさせていただいております。それから1人あたりの市の職員数、1人の市の職員が公をする市民の数、これも私ども座間市は市内県内においてもまた、国内においても、相当レベルが高いところの水準まで至っています。合理化が進んでいるんです。ただ、まだまだそれは民間の感覚でいけば足りないところがいっぱいあります。これをやはりきちんとやっっていかなければならない。そうした部分については皆さん感じになっている通りでございます。こうした部分について、やはり方向性を明確に、そしてビジョンを持って取り組んでいく部分があるわけでございます。

自治会の活性化関係の話、新しく住まわれる方が市役所に行って、自治会に入るんでしょうかと聞くと、任意ですという話があったと、これは言語道断の話です。これは今日ここにお邪魔して初めて伺った話で、これはあくまでも任意は任意なんでしょう。ただ、やはり町の活性化というものを考えたときに自治会の活動、自治会の活性化というのはなくしてないわけですから、当然、市としてもそれは個人の意思によるものですが、やはりその地域に住まわれる以上はどうか自治会に入っていただけないでしょうかと、こういうようなやはり感覚に立っての勧めというものをして然るべき話であるわけでございますし、そういった点では心がけというものが足りない、ありがたいご指摘でございます。これはすぐに改善させようというふうに思います。

今日のこの会合の意味というのはまさにそこで、なんだばかやろう何やってるんだと、こういうふうに思っっちゃう率直なご意見というものをこういうふうに承って、その中で、やはりここは最優先で解決していかなきゃいけない、何とかしてこういう問題について取り組みしなきゃいけないということの危機感を私共職員がまず持つ、それに対してこれからあと5地区このように懇談会をやらせていただきますし、先程申し上げましたように各団体、色んな方から色んなご意見を承っております。それを集約した中で、次に私どもとして皆さんのご意見を集約をした中でこれだけ出されました、これでいかがでしょうかということで、また、問いかけをさせていただきます。そこでまた具体的に踏み込んだご指摘を頂戴が出来ればというふうに思っておるわけでございます。

あと、色々お話したいことがあるんですけれども、企業誘致の関係のお話、これをちょっと最後にひとつさせていただきたいと思います。どちらに伺っても日産自動車の撤退とい

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	31/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

う話、日産自動車がいなくなった後というお話がどこ行っても出てくるお話なんでございますけれども、現在日産自動車の座間の事業所 2800 名の社員がいらっしゃいます。自動車の組み立てをやっていたピークの頃で、一番多かったとき 3200 名です。今ほぼ 9 割がたに回復をしてきている。じゃあ、あれだけの敷地があと売っちゃったらいいというお話があるかと思います。確かに売っちゃって一部は流通の倉庫、プロロジスパークという外資系の倉庫が入って大きな開発をやりました。しかしながら、それ以外の部分に、今座間の事業所においては、1 つはグローバル生産技術センターと称する全世界各地に日産自動車が組み立て工場を展開する際の大元になる技術、これを発信する部門が座間にあります。さらにその組立工場の中で使う生産機材また、トラスターマシンそういった生産設備を開発設計そして現地に指導に行く部隊が全部この座間に集約されています。さらには、NECとの合弁企業で、オートモーティブエナジーサプライというこれから先電気自動車が普及した際の一番のコア、一番の核になるリチウムイオン電池の開発そして日本国内向けの量産のプラント、これが全部座間にきてるわけです。その後これまでの地道な日産との関係、日産さんとの関係の誘致の結果だと私思っております。かたちは派手ではない、なかなか一般には目立たない中でも、付加価値が高い部分は日産さんここに持ってきていただいているわけで、それはこれからの市の財産になると思います。

それから商業の関係、誘致の問題。これについても実際この座間のまち、すでにこの辺の土地から残念ながら現実的には、無秩序な都市化が進行してしまっています。人口密度が 7300 人、これは県内において川崎、横浜、大和に次いで 4 番目の高さでございます。なかなか大規模な開発を行うというようなもう土地がございません。これが座間の田園地帯、西部地域と言いますが、こちらは都市計画上では農業をきちんとやっていただくという地域になっております。また栗原の北向庚申から北にかけての中丸地域というところ、これも市街化調整区域です。これから先人口減少社会そして安定成長の時代において、新たな都市計画、新たな都市開発というもの、今ダムの建設に関してあちこちで中止というふうな話もありますし、道路に関して中止という話がありますが、新たな大規模開発をやる必要があるんだろうかどうかということ自体も大きな議論になっておるわけです。そうした中で私たちがやはり考えなければいけないのは、今現状この座間の置かれている状況、これをきちんと把握をした中で、それに対して良い所を小さなものでもいいから伸ばす、そして今まではこの座間に寝起きをされて、市外へそれこそ働きに出られて夜たくたになくなって帰ってこられてまた翌日仕事に行く、そういう皆さんが今度この座間のまちを終の棲家として共に住んでいくという時代になっていくわけでございます。そうしたときにそうした市民の皆さんに向けて私ども行政も何が出来るのかということを考えていかなければならない、そうした時代に向かっていく 10 年だと私思っております。

そういった面で自治会のあり方、それから地域の中でのお互いの人間関係の作り方、これをどのように多様に、またどのようにそれをレイヤーを重ねるごとに層を重ねるごとに作っていったら、この住宅都市としてきた座間のまち自体が、まち自体が共通の面で求心力を作っていけるのか、こうしたこともやはり考えていかなきゃならない私大きな課題だと思いま

件名	地域別懇談会 【栗原・東原地域】	頁	32/32
日時	平成21年10月14日(水)	場所	東地区文化センター

すけれども。

商業の集積もない、これは昼間人口と夜間人口の差によりすぎてということでございます。座間のまちは、やはりいまだに昼は外へ出られて夜帰ってきて、買い物もこの中ではなく外で買いまわりに、高い商品に関しては他の地域に行って買ってしまふ。おっしゃる通りそれは外に、自分たちが一生懸命稼いできたものを外に持ち出して使ってしまう、市には残らないじゃないか、こういうご指摘でございます。これはまったくその通りでございます。それに対してじゃあ小さなことでも何が出来るのか、これをやはり考えていかなければならない。そういったようなこれまで歩んできた中で、まさに課題としてあったことがもうこの私共座間だけではなくこの国自体がそうだと思うんですが、どんどんそれが顕在化をし、それが大きくなり、それに対して取り組んでいかなきゃいけない、こういう時代になってしまっている。それについて、今与えられている条件の中で、出来るかぎりのことをやっていく、これが私どもの使命ではないかというふうに思っております。

財政に関しても、この310億前後の一般会計の財源、これは日本国内各地方と比べれば非常にまだ恵まれている状況に私共はある状況にあります。それだけにきちんと私共自身が受け止めながら、市民の皆さんに対してきちんとお返し出来る様な方策を組んで取り組んでいく、そうした部分でのこの総合計画の策定ということにさせていただきたいと思っております。

長くなってしまったんですが、今日いただきました貴重なご意見を踏まえさせていただきまして、またこれを整理をさせていただいて、次なる提案の際には、具体的に今度はお出し申し上げたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。今日は本当に長時間にわたりましてありがとうございました。

【コンサルタント】

それでは意見交換こちらで終わらせていただきますが、最後に市のほうから閉会をお願いいたします。

6. 閉会

今日は夜分、7時からということで限られた時間でございますけれども大変貴重な意見をいただきました。今、市長のほうから申し上げましたように、この意見をもう一度精査をして次の懇談会のほうで、さらに明らかにしていきたいと思っておりますので、引き続きご指導いただきたいと思っております。それでは、時間がきましたので本日は以上をもちまして地域別懇談会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。